



ホテル花巻の「和食処 羽山」の「羽山膳」。観光客のみならず、地元住民も昼食に訪れる

花 巻温泉株式会社を訪ね、料飲部料飲課の平賀明子課長にもてなしの観点からの地元食材への思いとお客様の反応などについて話を聞きました。



花巻温泉株式会社料飲部料飲課の平賀明子課長

北 上市立和賀東小学校（岡本眞喜子校長・児童数330人）を訪ね、中野順一副校長から学校の取り組みや児童らが持つ食（米）への意識などについて伺いました。同校は学習の大きな目玉として毎年、全校児童



北上市立和賀東小学校の中野順一副校長



購買部ライスセンター内には4升炊の釜が10個並び、1日に約100~200kgの米が炊かれる

設に提供しています。平賀課長は「唯一100%地元産で提供できる食材は「お米」なのです」と開口一番に語ってくれました。遠方のお客様が「凄くおいしい」と食味（粘り）と香りに絶賛し、品種を聞いてくれることが多いとのこと。「そこにしかないという付加価値のある地元産ひとめぼれ。自信を持って提供出来ています」「米に限らず、おいしい物が食べたという消費者の期待を裏切らず、今まで以上に確実に安全で安心、新鮮な地場産食材を提供して頂きたい」とJAに対しての期待の念を語ってくれました。

（全学年）による稲作授業で体験田を実践。「地域の産業である稲作」、「日本の食を支える米」、「栽培米で被災地支援」の3つを児童たちが実感・意識する事を目的としています。中野副校長は「地域ボラティアの指導があるから取り組みが成り立っている」と語ります。その言葉から同校児童たちは「お米や地域の農業に対する意識」が高い事が判ります。



日 々、各報道媒体では、様々な「ずさんな管理の危険な食べ物」の話題が海外のものだけでなく日本国内においても頻りに伝えら

れられています。「安全・安心」は皆が共通に持っている願い。特に「命の源である食」に対する思いは年々強くなっています。日本の主食である「米」。JAは消費者の皆様のそうした願いに心えるため、「信頼のおける地元農業者が手塩にかけて生産したお米」をより安全・安心を追求した徹底的な管理のもと「食味・品質共に自信を持って」お届けいたします。

ります。引き続き26年産米においてても200万袋集荷運動を展開し「指定される産地」の確立に向けた集荷・販売強化、併せて今回の「きたかみ精米センター」の新設・稼働を契機に、積極的な精米供給体制を確立するとともに地産地消を拡大推進し、持続出来る強い地域農業づくりと地域の皆様への貢献に努めてまいります。

引 き続き26年産米においてても200万袋集荷運動を展開し「指定される産地」の確立に向けた集荷・販売強化、併せて今回の「きたかみ精米センター」の新設・稼働を契機に、積極的な精米供給体制を確立するとともに地産地消を拡大推進し、持続出来る強い地域農業づくりと地域の皆様への貢献に努めてまいります。

新鮮で安全な農畜産物を作るには「いい土」と「きれいな水」が基本です。そして、農家の愛情が加わることで消費者にも「おいしい」が伝わるものであり、「農と共生」の心がここに生きています。

岩手県のほぼ中央を横切る広大な管轄をもつJAいわて花巻。ここには、恵まれた自然ときれいな水、空気、寒暖の差が大きい内陸性気候と良いお米を育てる条件が揃っています。その環境を活かし、農業を極力抑え、土を作り、農の匠による丹精込めた「花巻米」を栽培しています。

JAいわて花巻は、イーハトーブの大地に根ざした、環境にやさしい農業をめざして頑張っています。

清らかな水と豊かな大地が育む大地の恵み

●お問い合わせ：米穀販売課0198(22)-6150 きたかみ精米センター0197(72)5133

04 JAの役割 地域貢献に向けて

周 辺のいわさき小、和賀東中学校と共通で年間2回一定期間で取り組む家庭学習強化週間「わがタイム」も注目です。「学習やノーマディアの時間を記録するもので、同校はオリジナルの「早寝」「早起き」「朝ごはん」の項目を追加し年4回、生活リズム指導に取り組んでいます。



願います。安心出来る食べ物子どもたちに食べさせた」と食に関する思いを語ってくれました。



①「白いご飯が大好き」と大きな器に盛られたご飯もべろりとたいらげていた
②和賀東小学校で米飯給食を配膳する様子

03 食への思い 「米」は日本の主食

農業者の皆さんが生産した米をお届けしている小学校や温泉施設を訪ね、地域産業である稲作と、食している「ごはん」への思いや願いの声を聞きました